

ありそうでなかったCollaborationシリーズ②



小林 敏志

●合同会社 はいこんちょ 代表
1983年、長野県北東郡栄村生まれ。
栃木県鹿沼市で、デイサービスと小規模有料老人ホームを運営。本人を主役にしたその人らしい生活を最期まで送れるよう、試行錯誤を続けている。10年間で10人のピック病の方を介護してきた。一筋縄ではいかないその経験をラップのように明るく語るライブが好評で、全国から講演依頼が殺到している。批評誌『ZERO HORA』に「ピック病介護覚え書き」を連載中。

はいこんちょで新型コロナのクラスター感染が発生してSNSでヘルプを要請したとき、単身、鹿児島から駆けつけたのが中迎さんだった。

虐待を生まないケアチームをつくる

～認知症ケアの最深部から～

いま、熱い視線を
注がれている
東のはいこんちょ
西のいろ葉

— 史上初のケア級タイトルマッチ —



中迎聰子

●株式会社 いろ葉 代表
1975年、南九州市生まれ。3年間の特養ホーム勤務を経て、2003年に鹿児島市に「宅老所いろ葉」を立ち上げる。2014年には住宅型有料老人ホーム「坂の上の老家」、2017年には小規模多機能施設「ひらやまの老家」、また2019年には、デイサービス「いろ葉の森」、住宅型有料老人ホーム「いちきの老家」を開設する。著書に『介護戦隊いろ葉レンジャー参上』『最強のケアチームをつくる』(円窓社)がある。

高校の家庭科の教科書に介護技術が掲載された小林さん。期せずして、どちらの事業所もドキュメンタリー映画の製作が進行中である。

2026年3月14日(土) 13:30~16:30

【プログラム】

- 13:30~14:30 ▶中迎聰子「ポジティブ思考が介護に晴れの日を増やす」
14:40~15:40 ▶小林敏志「ネガティブ思考が介護の雨の日を癒す」
15:40~16:30 ▶小林敏志×中迎聰子
対談「虐待を生まないケア社会は可能か」

【会場】埼玉会館

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
アクセス: JR浦和駅(西口)下車、徒歩6分

【参加費】4,000円

考える杖会員3,500円/当日、会場にて、現金払い

★「認知症ケア専門士」の資格更新に必要な単位「3単位」を取得できます ★お申込みいただいた方には受付完了メールを返信します

主催: なるほどケア塾 お申込み先▶▶▶ FAX 042-306-3772
TEL 042-306-3771 E-mail info@ensosha.co.jp

参加者氏名 (勤務先名)		<input type="checkbox"/> 考える杖会員	参加人数	名	認知症ケア専門士 参加証明書(要・不要)
ご住所	〒 一				<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅
電話番号			FAX番号		
E-mail アドレス	※英数字や記号などの判別がつくように記入を				